

# 一般質問

4人の議員が登壇しました

議席3番

相良 昌宏 議員



## 冠水対策について

**Q** 町道2048号線の境警察署西から赤荻整形外科医院東は大雨のたびに冠水するが雨水・排水対策はどのように講じているのか。

**A** 町として、雨水・排水計画の基本計画をとりまとめ境警察署南側の長井戸地区・上小橋地区及び陽光台地区について平成34年度までに、上小橋五差路北側に調整池の整備を進めています。また、随時、排水堀・U字溝の堆積物・泥等の撤去をおこなっているところである。

(建設農政部長)

**Q** 染谷川周辺は大雨ですぐに冠水してしまうが、圏央道境・古河

IC付近の大規模な工業団地開発にあわせて染谷川の改修工事はどのように行われるのか。

**A** 境・古河IC周辺の開発においても区域内に調整池を設け、一度貯めてから川に放流し、染谷川に直接負荷をかけない計画になっています。染谷川の改修は、平成3年に用地買収に着手し98.6%の用地を取得し、事業認可区間2,315mのうち940m区間が完了し進捗率40.6%となり、今後、橋の調査設計や取り付け道路の工事を実施し、国道354号線の橋の架け替えやボックスの改修などを含めた残工事の事業費が約7億となっており、必要な予算の確保につとめて事業を推進していく。

(建設農政部長)

議席5番

櫻井 実 議員



北朝鮮の弾道ミサイル脅威について

**Q** 弾道ミサイルが発射された場合に備えて、本町はどのような体制を整備し町民の安全を守るのか伺う。

**A** Jアラートが作動すると自動的に防災無線を通じて町民に伝達するシステムが整備されており、26年から11月に毎年一斉情報伝達訓練を実施している。ミサイルが落下する可能性がある場合の行動については、町のホームページに「Q&A」を掲載している。10月1日の境地区の行政区を対象とした総合防災訓練の中でもミサイル発射を想定した対応訓練を行った。

(総務部長)

災害時の避難行動要支援者に対する取り組みについて

**Q** 避難行動要支援者の避難行動支援に関する取り組みの現況を伺う。

**A** 災害時、自ら避難することが難しい高齢者や障がい者の支援のため住所や氏名を記載した名簿作成が市町村に義務付けされており、現在、名簿対象者の集約が完了し、